

**オンライン開催** 参加方法: ZOOM会議システム

希望者には**修了証**を発行します

対象者: **医療従事者**(学生含む)



# 英国緩和ケア WEB研修

参加費  
**無料**  
(定員100名)

2020年～2021年度は、新型コロナウイルス感染症による感染拡大の影響で、海外研修を実施することができませんでした。

しかし、日本各地にいるがん患者さんは今も医療者による心の癒しを求めています。

そこで、**英国在宅ケアやホスピスケアで有名な英国のドロシーハウス・ホスピスの様子や緩和ケアの様子を、リモートを通じて皆さんと共有し、コロナ禍において我々に何ができるのかを考えるきっかけになれば幸いです。**

石川県立看護大学 教授 牧野智恵

2022年 17:00～19:45

**3月10日(木)**

【申込締切】2022年 **3月7日(月)**

右記QRコードよりお申込下さい→



**ドロシーハウス・ホスピス**  
～Dorothy House Hospice Care～

終末疾患患者は病院内ではなく生活するコミュニティでのケアが必要だと感じ、聖クリストファー・ホスピスに触発されたブル・デュフォーによって1976年に設立されました。彼女が選んだ当施設の名称「ドロシー」には「神の贈り物」(Gift of God)の意味があります。

患者がよい生活を送り、よい最期を迎えることができるように、生活の質に重点を置いています。

Program プログラム 司会進行 石川県立看護大学 成人看護学 講師 松本智里

16:55～

開会の挨拶 石川県立看護大学 成人看護学 教授 牧野智恵

第1部  
ビデオ視聴  
セッション

17:00～17:30

・ドロシーハウスの紹介とバーチャルツアー ウェイン・ド・リーブ氏(CEO)

・ホスピスが提供するケアと教育 キャンディ・マケイブ教授(教育研究担当)、ミッシェル・ジョーンズ氏(人材開発マネージャー)

17:30～18:00

・スピリチュアル・セッション byデーブ・スミス氏(聞き手: ミッシェル・ジョーンズ氏)

デーブ・スミス氏(スピリチュアル支援リーダー)、ミッシェル・ジョーンズ氏(人材開発マネージャー)

\*字幕翻訳\*

第2部  
ライブ  
セッション

18:00～18:15

・講師等の紹介

18:15～18:45

・コロナ禍における専門的緩和ケアの提供 カレン・トウジ氏(患者家族サービス次長)

18:50～19:20

・悲願と死別 一事例検討を通して— アン・モンターギュ氏(心理支援リーダー)

19:25～19:45

・Q&A

\*同時通訳付\*  
通訳者  
重松 加代子氏

※当日の進行状況によって、時間が前後する可能性があります

閉会の挨拶 石川県立看護大学 成人看護学 教授 牧野智恵

【お申し込み・お問い合わせ】石川県公立大学法人 **石川県立看護大学** (担当: 岡山)

〒929-1210 石川県がほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300(代) E-mail: ganpro2@ishikawa-nu.ac.jp

主催: 超少子高齢化社会での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)

